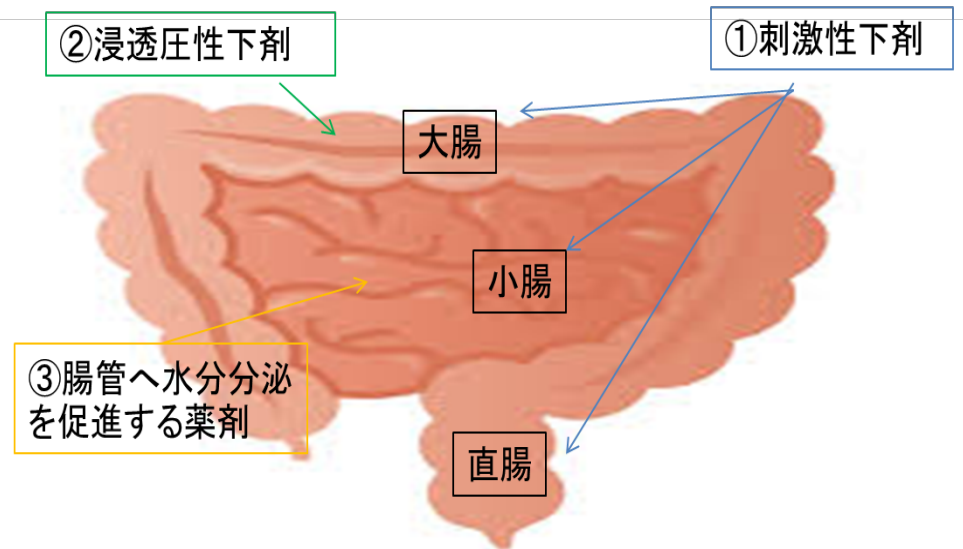


8.薬物療法



• 便秘の治療薬

① 刺激性下剤

センノシド、アローゼン、ラキソベロンなどの飲み薬があります。効果が現れるまでの時間は約8～12時間ほどと言われています。腸を活性化させるため、効きすぎると腹痛を起こすことがあります。直腸を刺激する薬剤としてテレミンソフト坐薬、レシカルボン坐薬、グリセリン浣腸などがあります。坐薬は15～60分ほど、浣腸は5分ほどで効果が現れると言われています。

② 浸透圧性下剤

酸化マグネシウム、ラクツロースなどの飲み薬があります。酸化マグネシウムは2～3時間ほど、ラクツロースは24～48時間ほどで効果が現れると言われています。非刺激性のため効果は緩徐で腹痛は起こりにくいと言われています。

③ 腸管へ水分分泌を促進する薬剤

アミティーザ、リンゼスなどの飲み薬があります。自然に近い排便を促す薬剤であるため、作用発現までの時間ははっきりとはわかりませんが、24時間以内に効果が現れることが多いと言われています。

④ その他

大黃甘草湯、大建中湯などの漢方薬があります。

1つの薬剤で効果が不十分な場合は、違う系統の薬剤を組み合わせることで上手く排便コントロールをできることがあります。同じ系統の薬剤を重ねて使うことで副作用発現の可能性が高まるため注意が必要です。

・ 下痢の治療薬

ビオフェルミン、タンナルビンなどの整腸剤、ロペミンなどの腸の動きを抑える薬剤があります。

細菌性の下痢など、無理に下痢を止めてはいけない場合もあります。その場合は、一部の薬剤は使えませんので、ご注意ください。

・ 便秘や下痢になりやすい薬

神経系に作用する薬（抗うつ薬、抗精神病薬、抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬）、抗ヒスタミン薬、オピオイド製剤、カルシウム剤、鉄剤などの薬剤は便秘になりやすいと言われています。

抗菌薬、抗がん剤、免疫抑制薬、消化器用薬（プロスタグランジン製剤、プロトンポンプ阻害薬）などの薬剤は下痢になりやすいと言われています。

他にも便秘や下痢が報告されている薬剤は多くあるため、新しいお薬が始まるときは注意が必要です。

